



Mercedes-Benz

Press Information

2023年12月14日

メルセデスの最上級 SUV

新型「GLS」および「メルセデス・マイバッハ GLS」を発売

- ・ ISG^{*1}を搭載したGLS 450 d 4MATICを追加し、全モデルが電動化
- ・ 対話型インフォテインメントシステム「MBUX」と「MBUX ARナビゲーション」を標準装備
- ・ トランスペアレントボンネットを全モデル標準装備

*1: ISGIはIntegrated Starter Generatorの略称で、マイルドハイブリッドシステム

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、新型「GLS」および「メルセデス・マイバッハGLS」を発表し、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて発売します。

「GLS」は、メルセデス・ベンツのSUVを表す「GL」に車格を表す「S」が付くその名のとおり、大人7名がゆったりと乗車できるゆとりあるボディサイズに、オンロード/オフロードを問わない優れた走行性能を備えており、上質で高い prestige 性を持つメルセデス・ベンツの最上級SUVとして位置付けられています。ラインアップには、GLS 450 d 4MATIC (ISG搭載モデル) (以下、GLS 450 d)、GLS 580 Sports (ISG搭載モデル) (以下、GLS 580) およびメルセデスAMG GLS 63 4MATIC+ (ISG搭載モデル) (以下、GLS 63)をご用意しています。

「メルセデス・マイバッハ GLS」は、メルセデス・ベンツのSUVの中で最大かつ存在感のあるボディサイズと、オンロード/オフロードを問わない優れた走行性能を備えているGLSをベースにしつつ、メルセデス・マイバッハとしてふさわしい徹底的な改良を施し、究極のラグジュアリーSUVを体現するモデルに仕上げました。ラインアップはメルセデス・マイバッハGLS 600 4MATIC (ISG搭載モデル) (以下、GLS 600)です。

メルセデス・ベンツGLSおよびメルセデスAMG GLS 63の特長

エクステリアデザイン

主な変更点は以下の通りです。()カッコ内は対象モデル

4本の力強い水平ルーバーをあしらった新デザインのフロントグリル
(GLS 450、GLS 580)

よりスポーティさを強調する新デザインのフロントバンパーとエアインテーク
(GLS 450、GLS 580)

新デザインのホイール
(GLS 450、GLS 580)

新デザインのテールライト
(GLS 450、GLS 580、GLS 63)

インテリアデザイン

GLSは、ホイールベースが長く、居住性と積載性に優れています。特に2列目シートには電動シートバックによる前後スライド機能を採用しており、最も後方にスライドさせることでレッグルームが87mm拡大するほか、乗降性も向上します。40:20:40分割可倒式バックレストや左右ヘッドレストの高さは電動調整式となっています。全モデル標準装備の3列目シート(2人掛け)は可倒式でありながら、身長194cmの乗員まで対応する本格的なもので、フレキシブルなシートアレンジが可能なほか、専用のUSB充電ポートも備えています。

空調は、前席左右、2列目シート左右、そして3列目シートの空調^{*2}を独立調整可能な5ゾーンクライメートコントロールとシートヒーターも標準装備しており、全ての乗員に快適な空調環境を提供します。

*2: 3列目ルーフにエアアウトレットが設けられます。温度調整は前席で行います。

また、乗り降りではドアを閉める際に、少ない力でも確実に閉まる、ドアクロージングサポーターを採用しているほか、今まではGLS 580にしかオプション設定が無かった2列目左右のリラクゼーション機能やシートベンチレーター、ヘッドレストクッション等を追加する「ショーファーパッケージ」をGLS450dとGLS63にもオプション設定し、最上級SUVに相応しい、快適でラグジュアリーな空間に上げることが可能となりました。

さらに、Burmester®サラウンドサウンドシステムを全モデル標準装備し、心地よいサウンドをお楽しみ頂くことが可能となります。

パワートレイン

先代GLS 400 d 4MATICにISGを組み合わせ、GLS 450 d 4MATICとしてラインアップに加わりました。

ISGはエンジンとトランスミッションの間に配置された電気モーターで、オルタネーターとスターターの機能も兼ねています。この電気モーターと「48V電気システム」により、従来のハイブリッド車のような回生ブレーキによる発電を行い、約1kWhの容量のリチウムイオンバッテリーに充電します。エンジンが低回転時には、その電力を利用して動力補助を行うことで、高い効率性と、力強い加速を実現します。スターターが高出力な電気モーターとなることで、エンジン始動時の振動を抑え、エンジンスタートおよびアイドリングストップの際の再スタートの快適性を向上しました。

また、アイドリング時には、電気モーターの充電電流を調整することで、エンジン回転数を低回転で安定的に保つことを可能にし、効率性、快適性および静粛性に寄与します。さらに、このモーターはシフトチェンジ時にも使用され、エンジンが理想的回転数に達するまでの時間を最小限に抑えるためのアシストも行います。これによりシフトチェンジに必要な時間が短縮され、スムーズでタイムラグの少ないシフトチェンジを実現します。

GLS 580 4MATIC Sportsのパワートレインは、低負荷での走行の際に4気筒を休止する機能による燃料消費量とCO₂排出量を抑制する新型4.0リッターV型8気筒直噴ツインターボエンジン「M177」と「ISG(インテグレートッド・スターター・ジェネレーター)」、「48V(ボルト)電気システム」などの新技術を搭載することにより、効率性、快適性、高性能化を同時に実現しています。エンジン単体で最高出力517PS(380kW)、最大トルク730N・mを発生させ、さらに、エンジンとトランスミッションの間に配置された、最高出力16kW、最大トルク250N・mを発生する電気モーターISGと、48V電気システムにより、従来のハイブリッド車のような回生ブレーキによる発電を行い、約1kWhの容量のリチウムイオンバッテリーに充電します。エンジンが低回転時には、

その電力を利用して動力補助を行うことで、高い効率性と、力強い加速を実現します。スターターに高出力な電気モーターを使うことで、エンジン始動時の振動を抑え、エンジンスタートおよびアイドリングストップの際の再スタートの快適性を向上しました。

GLS 63には、メルセデスAMG社が完全自社開発した、最高出力612PS(450kW)、最大トルク850Nmを発揮するAMG 4.0リッターV型8気筒直噴ツインターボエンジン「M177」が搭載されます。砂型鑄造されたクローズドデッキのアルミニウムクランクケースに鍛造アルミニウム製ピストンを組み合わせることで、軽量かつ高強度なエンジンを実現しました。また、シリンダーウォールにスチールカーボン材を溶射コーティングするNANOSLIDE®摩擦低減加工を施すことで、フリクションロスを低減しています。さらに、燃料を効率的に消費するために、「Comfort」モードで走行中、エンジン回転数が1,000~3,250回転で低負荷の際に、2/3/5/8番の4気筒を休止することで燃料消費量とCO₂排出量を抑えることができる「AMGシリンダーマネジメント」も搭載しています。

2基のターボチャージャーはV型シリンダーバンクの外側ではなく内側に配置する「ホットインサイドV」レイアウトとしました。エンジンを可能な限りコンパクトにするとともに、ターボチャージャーへの吸排気経路を最適化することで、優れたレスポンスを実現します。

GLSに搭載されるISGはエンジンとトランスミッションの間に配置された、最高出力16kW、最大トルク250N・mを発生する電気モーターで、オルタネーターとスターターの機能も兼ねています。この電気モーターと「48V電気システム」により、従来のハイブリッド車のような回生ブレーキによる発電を行い、約1kWhの容量のリチウムイオンバッテリーに充電します。エンジンが低回転時には、その電力を利用して動力補助を行うことで、高い効率性と、力強い加速を実現します。スターターが高出力な電気モーターとなることで、エンジン始動時の振動を抑え、エンジンスタートおよびアイドリングストップの際の再スタートの高い快適性も備えています。

また、アイドリング時には、電気モーターの充電電流を調整することで、エンジン回転数を低回転で安定的に保つことを可能にし、効率性、快適性および静粛性に寄与します。さらに、このモーターはシフトチェンジ時にも使用され、エンジンが理想的回転数に達するまでの時間を最小限に抑えるためのアシストも行います。これによりシフトチェンジに必要な時間が短縮され、スムーズでタイムラグの少ないシフトチェンジを実現します。

メルセデス・マイバッハGLSの特長

エクステリアデザイン

メルセデス・ベンツのラインアップの中で「SUVのSクラス」と評されるGLSのボディフォルムや先進技術をベースに、最高水準の高級感と快適性を融合したSUVであるメルセデス・マイバッハ GLS。スタイリッシュかつ力強いスタイリングはその特別なポジションにふさわしい威厳があります。

フロントにはメルセデス・ベンツのSUVで唯一、伝統の「スリーポイントドスター」が輝くボンネットマスコットを採用しています。フロントグリルは縦方向のピンストライプをモチーフとしています。このピンストライプは上端が太くなったボートのオールのような形をしており、フロントグリルを取り囲むクロームの上部中央には「MAYBACH」の文字が刻まれています。フロントエプロンにはマイバッハパターンをあしらったエアインテークを設け、クロームのフロントバンパーと相まって、洗練された高級感を演出しています。

リアはスリーポイントスター下部とリアバンパー上部を走る2本のクロームトリムで、水平基調のデザインを表現しています。バンパー下部のアンダーガードと左右のエグゾーストエンドはハイグロスクローム仕上げとすることで一体化しているようなアピアランスを形成しています。

新型メルセデス・マイバッハGLSでは、リアコンビネーションランプ内部のデザインを変更しています。

インテリアデザイン

元々定員7名で設計されたGLSの広い空間を贅沢に使い、定員を5名^{*3}にしたことで、さらにゆとりを感じる広さを実現しています。また、セダンのSクラスと比較すると運転席で250mm以上、後席で280mmそれぞれ高くなっていますが、電動ランニングボードにより乗降は容易に行うことができます。

メルセデス・マイバッハGLSの内装は、3種類のウッドインテリアトリムと、3種類のインテリアカラー(ブラック、マホガニーブラウン/マキアートページェ、クリスタルホワイト/シルバークレイ)のナッパレザーの組み合わせが選択可能です。クリスタルホワイト/シルバークレイは高級ヨットの艇内をモチーフにしています。

シートはダイヤモンドステッチ入りの新デザインを採用し、さらに高級感あるインテリアになりました。また、後席から見る事ができる、前席バックレスト背面にもインテリアトリムを配し、美しさと高級感を添えています。

*3: ファーストクラスパッケージを装着した場合、定員は4名になります。

パワートレイン

パワートレインには3,982ccのV型8気筒ツインターボエンジン「M177」に48V電気システムとISG(インテグレートド・スターター・ジェネレーター)を組み合わせたユニットを採用しています。システム最高出力は557PS(410kW)、最大トルクは770N・mです。ISGはエンジンとトランスミッションの間に配置された電気モーターで、オルタネーターとスターターの機能も兼ねています。この電気モーターと「48V電気システム」により、従来のハイブリッド車のような回生ブレーキによる発電を行い、約1kWhの容量のリチウムイオンバッテリーに充電します。エンジンが低回転時には、その電力を利用して動力補助を行うことで、高い効率性と、力強い加速を実現します。スターターが高出力な電気モーターとなることで、エンジン始動時の振動を抑え、エンジンスタートおよびアイドリングストップの際の再スタートの快適性を向上しました。

アイドリング時には、電気モーターの充電電流を調整することで、エンジン回転数を低回転で安定的に保つことを可能にし、効率性、快適性および静粛性に寄与します。さらに、このモーターはシフトチェンジ時にも使用され、エンジンが理想的回転数に達するまでの時間を最小限に抑えるためのアシストも行います。これによりシフトチェンジに必要な時間が短縮され、スムーズでタイムラグの少ないシフトチェンジを実現します。

さらに、低中負荷域で気筒休止を行うことも大きな特徴のひとつで、ダイナミックセレクトで「コンフォート」が選択された場合、エンジン回転数が800~3,250rpmの領域で4つのシリンダーを休止します。アクセルを強く踏み込むと、すぐに燃焼運転に復帰します。4気筒と8気筒の切り替えは極めてスムーズに行うので、快適性が損なわれることはありません。また、振り子型ダンパーを備えることで4気筒で発生する2次振動などを低減しています。

トランスミッションは9G-TRONICを採用し、変速比幅が広いことからエンジン回転数を必要以上に上げることなく常に快適な走行性能を実現しています。4輪駆動システムの4MATICは走行状況に応じて前後の駆動力配分を0:100から100:0まで可変します。

新型GLSおよびメルセデス・マイバッハGLS共通の特長

E-ACTIVE BODY CONTROL

新型GLSおよびメルセデス・マイバッハGLSのサスペンションにはE-ACTIVE BODY CONTROLを設定しています*4。AIRMATICのシステムをベースに4輪それぞれに48V対応のアクチュエーターを追加、スプリングレートとダンパーの減衰力を個別制御することが可能です。

*4: GLS 580およびGLS 600に標準装備。GLS 450 dにオプション設定。

ロードサーフェススキャンはステレオカメラで前方の路面のアンジュレーションをモニターし、あらかじめダンパーの減衰力を演算して準備する機能で、これによりタイヤへの初期入力から適切に減衰させるとともに、ばね上にその振動を極力伝えずフラットな乗り心地を提供できます。ダイナミックカーブ機能のCURVEでは、コーナリング時のロールによるばね上の傾きを修正し水平になるよう制御します。オフロードモードでの脱出機能は、砂丘などでスタックした際に抜け出せるよう支援するもので、サスペンションが4輪を個別に上下させる動作を繰り返し、タイヤが地面に加える荷重を増減させることによりトラクションを復帰します。また、メルセデス・マイバッハGLSにのみ設定されているダイナミックセレクトの「マイバッハ」は、「コンフォート」が全席に対して乗り心地の重視するのに対し、後席の乗り心地に焦点を絞った制御を行います。

AMG ACTIVE RIDE CONTROL

GLS 63には、高いアジリティとニュートラルなコーナリング、最適なトラクションを実現する「AMG ACTIVE RIDE CONTROL」を採用しています。前後アクスルそれぞれに配されたアクチュエーターが独立して動き、車体の安定化を図ります。電気機械式でレスポンスが速く、1秒あたり1,000回の頻度で路面の状態に対応した制御を行うことができます。これにより、直進時にはしなやかな足回りによる快適な乗り心地を発揮しながら、コーナリングや車線変更時にはロールを効果的に抑制し、より快適でダイナミックなドライビングを可能としました。

最新世代のステアリングホイール

新型GLSおよびメルセデス・マイバッハGLSには、メルセデス・ベンツの最新世代のステアリングホイールも採用しています。ナビゲーションやインストルメントクラスター内の各種設定や安全運転支援システムの設定を手元で完結できる機能性も有しています。さらに、従来はタッチコントロールボタンへの接触やステアリングホイールにかかるトルクで判定していた、ディスタンスアシスト・ディストロニック使用時のハンズオフ検知機能のために、リムに静電容量式センサーを備えたパッドを採用しました。これにより、ステアリングホイールにかかるトルクがなくとも、ドライバーがステアリングホイールを握っていることが認識され、ディスタンスアシスト・ディストロニックの使い勝手を向上しています。

GLS 63には、AMGドライビングスイッチを備えたAMGパフォーマンスステアリングを採用しています。ドライブモードをセンターコンソールのAMG DINAMIC SELECTおよびAMGパフォーマンスステアリングのスイッチで様々な状況に最適な制御を選択することができます。

また、ドライブモードとは独立して、マニュアルシフトへの切り替えなどがセンターコンソールの液晶表示ボタンで操作することができます。

「Offroad」モード

新型GLSおよびメルセデス・マイバッハGLSには、スイッチ操作1つでエンジンやトランスミッションの特性を切り替えるDYNAMIC SELECTの中に「Offroad」モードを加えています。「Offroad」モードでは、トランスミッションがオフロードモードに切り替わり、雪道や悪路での走破性を高めます。また、「DSR(ダウンヒル・スピード・レギュレーション)」も備えており、急な下り坂での安定した走行をサポートします。

トランスペアレントボンネット

Offroad モードでは、360°カメラシステムを使い「トランスペアレントボンネット」機能を使用できます。メディアディスプレイにクルマのフロント部分下方の路面の映像(フロントタイヤとその操舵方向を含む)を仮想的に映し出す機能で、進路上にある大きな石や深い窪みなどの障害を車外に出ることなく確認することができます。

オフロードスクリーン

新開発のオフロードスクリーンは、コックピットディスプレイおよびメディアディスプレイに情報や操作スイッチ類、さまざまな機能を分かりやすく配置する機能です。コックピットディスプレイには、車両の傾き、路面の勾配、標高、コンパスのほか、車速、エンジン回転数が表示されます。これに加え、メディアディスプレイには、周辺地形におけるGLSの現在の姿勢やフロントホイールの操舵角などが表示されます。これにより、オフロード走行に関連するすべての運転機能を1つの画面で簡単に操作することができます。

MBUX ARナビゲーション

新型GLSおよびメルセデス・マイバッハGLSは、AR (Augmented Reality = 拡張現実) ナビゲーションを標準装備しました。従来、目的地を設定して行先案内をする場合、地図上に進むべき道路がハイライトされますが、それに加えて、車両の前面に広がる現実の景色がナビゲーション画面の一部に映し出され、その進むべき道路に矢印が表示されます。これにより、より直感的にどの道路に進むべきかを判断することができます*5。

*5: オン/オフの切り替えが可能。オフの場合、従来どおり、地図上の道路をハイライトする画面が表示可能。また、オンの場合は、ARナビゲーションと従来のナビゲーションが同時に表示されます。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

GLS

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ^{*7} ()内は消費税抜き車両本体価格	
GLS 450 d 4MATIC (ISG搭載モデル ^{*6})	右	3.0L、直 6 直噴 ディーゼルトーボ	¥15,300,000	(¥13,909,091)
GLS 580 4MATIC Sports (ISG搭載モデル ^{*6})	左	3.0L、直 6 直噴 ディーゼルトーボ	¥20,300,000	(¥18,454,546)
メルセデス AMG GLS 63 4MATIC+ (ISG搭載モデル ^{*6})	左	4.0L、V8 直噴 ツインターボ	¥27,800,000	(¥25,272,728)

メルセデス・マイバッハ GLS

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ^{*7} ()内は消費税抜き車両本体価格	
メルセデス・マイバッハ GLS 600 4MATIC (ISG搭載モデル ^{*6})	左	4.0L、V8 直噴 ツインターボ	¥32,200,000	(¥29,272,728)

*6: ISGはIntegrated Starter Generatorの略称です。

*7: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。販売店が価格は独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、新型「GLS」および「メルセデス・マイバッハGLS」には、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

また、メルセデス・ケア終了後、有償の保証延長プログラムとして、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」と、GLS 450 d、GLS 580およびGLS 600には4、5年目のメンテナンスサービスにおいて、初回車検時および4年目の点検や定期交換部品、消耗品の交換をパッケージでご提供する「メンテナンス プラス^{*8}」をご用意しています。

*8: 新車登録日から59ヶ月後の応当日の前日、または総走行距離75,000km到達時のいずれか早い時点で終了となります。GLS 450 d、GLS 580、GLS 600が対象、GLS 63は対象外。



メルセデス・ベンツ GLS 450 d 4MATIC (ISG 搭載モデル)



メルセデス AMG GLS 63 S 4MATIC+ (ISG 搭載モデル)



メルセデス・マイバッハ GLS 600 4MATIC (ISG 搭載モデル)

※本プレスリリースに記載されている仕様およびメーカー希望小売価格は、発行日現在の内容です。